

千年の森便り No.131

2014.7.25

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

事務局長 伊藤道男

sennenomori@hotmail.co.jp

活動の記録

7月8日火曜日 21日の定例活動日に参加できないため、8日に一人で臨時活動をしました。

○野鳥の記録

カワウ6 アオサギ1 ホトトギス囀り トビ2+声 コゲラ声 カケス声 ハシボソガラス声 ハシブトガラス声 ヤマガラ声 シジュウカラ声 ツバメ5 ヒヨドリ3+声 ウグイス囀り メジロ囀り セグロセキレイ2 カワラヒワ4+声 ホオジロ囀り 以上17種でした。

一人だと鳥の声も聞きやすいので記録種数が多くなる傾向があるようです。

○キノコ

見事なアンズタケがありました。ムラサキヤマドリタケは見つかりませんでした。

○植 物

ヒメコマツ植栽地保護のネットにガガイモ科の仲間が巻き付いて花が咲き始めていました。オオカモメヅルと思うので活動日に再確認して下さい。保護ネット内のオカトラノオは沢山咲いていましたが、盛りを過ぎていました。

アワチドリは豊英の農家が自分の山で移植保護しているもので、完全な野生ではありません。ちょうど良い咲き具合でしたので、参考までに写真を添付しました。花期にボートで探せば島の周囲の崖でも自生が見つかるかも知れません。(坂本)



アンズタケ (7/8 坂本)



オオカモメヅル(7/8 坂本)



アワチドリ (7/8 坂本)

7月21日(月、海の日)曇

参加は新井通子、鶴沢、苅米、久我夫妻とお孫さん親子、高橋夫妻、田島、中田夫妻と子供達、根本、福島、松田、真鍋、村野、森、山口の25名。朝一番、照度計とトランシーバーのリハーサルに続いて全員で照度調査の後、グループに分かれて、コナラ林植生保護柵内の整備、キノコ調査、植物調査、昆虫観察など行いました。前日までの雨が上がり、照度調査には最適の曇り空。年長さんから中1まで7人の子供の参加があり、子供達は照度調査や丸太運搬を手伝い、昆虫やキノコ探し、更に夫々工夫して森の遊びを楽しんでいました。夏のキノコも沢山あり、昼には美味しく頂きました。(真鍋)



子供たちの参加で森は賑わい、将来も明るい

○相対照度調査

着葉期と落葉期の年に2回行っている相対照度調査を行いました。今回は着葉期の調査です。時間は10時30分から12時、使用機材は照度計8台とトランシーバー9台です。空は暗く、一時はパラパラと雨が降ってきましたが、林内では雨にぬれずに調査を終了することができました。測定箇所は、島内の14箇所と、巨木林植生保護柵の内側(30点)と外側(9点)です。

測定結果は5頁表のとおりです。巨木林植生保護柵の内側の平均値は1.0%、外側の平均値は1.1%でした。最も相対照度が高かったのは、2月から測定を始めたコナラ伐採地（植生保護柵）内で64.5%、最も低かったのはこれまでと同様に2-7モミ混じり巨木林で0.6%でした。（測定結果表は5頁）

測定には中田ファミリーの子供たちが参加してくれて、林内に照度を読み上げる大きな声が響いていました。相対照度については大まかな傾向がわかってきたので、今後はこれをどのように森づくりに活かしていくかが課題です。（福島）

○植生保護柵内の整備

梅雨明けの近い空の下、丸太をロープで引く子供たちの大きな掛け声が千年の森に響き渡りました。大人たちから、丸太の重量を計算する方法や、滑車を使うことによって、手で引く力が軽くなる事などを学び、長いロープを力いっぱい引っ張り植生保護柵内に点在するそれぞれ100~200kgの丸太10本を柵外に移動しました。中田ファミリー、久我ファミリー、声援を送った皆さんお疲れ様でした。

重量物の移動でしたが「ヒヤリ、ハット」もなく安全に楽しく作業を終えました。植生保護柵内の面積は保護柵の長さから判断し、およそ420平方メートル（127坪）と推測しました。区割りするため正確な測定を次回行う予定です。（根本）



楽しい経験ナンバーワンは照度測定-トランシーバーで報告



滑車のロープを力いっぱい引っ張って材木運びも楽しい体験

豊英島で子供たちは貴重な体験

（中田真也子さんの Face Book より）

月曜日（祝日）は君津市の豊英島で続けられている千年の森をつくる会に家族で参加してきました。我が家は千年の森をつくる会に5年前から年に数回ずつですが参加させていただいています。スタッフの皆さんが孫のように可愛がってくださるのが子供たちは、また嬉しいようです。（いつもありがとうございます！！）今回は我が家以外に二人小5と年長さんのお友達がいて、ますます賑やか。また楽しい経験をさせていただきました。色々な場所で自由に遊んでいたのが書ききれませんが、子供たちに楽しかったことを聞いたところ・・・1位は森の照度調査のお手伝い（というか邪魔をしていた??）・・・森の中のいろんな場所の照度を照度計使って同時に計り、トランシーバーで報告します。トランシーバーが調査隊員っぽくてカッコよく感じたようです。2位は材木運び、滑車を使って150kg以上の材木を子供たちだけで何本も運びました。綱引き感覚ですごく楽しかったようです。3位はキノコ狩り(?)・・・今回夏のキノコが50種類も見つかりました。特大きのこもあってびっくり。子供たち自身も沢山見つけて喜んでいました。松田さんのキノコスープも美味しかったとのこと！4位は・・・これは双子だけです・・・ママ（私）と一緒にミニハイキングをして切り株の中に蟻この蛹と卵



キノコもいっぱい

を見つけたことと島内の小山の上にある小さなほころにお参りしたことが楽しかったとのこと。双子は、ママがもう山でケガをしないように祈願してくれました！豊英島では、毎回色々な経験をさせていただいています。子供たちは、ただ遊んでいるようでもありますが、四季を通して姿を変えていく森を見ること、そしてその森で活動されている皆様の姿を見ることは、子供たちにとって貴重な体験になっていると

思います。本当にいつもありがとうございます。（中田真也子）



祠でママの安全祈願

○キノコ調査

今年の房総のキノコの発生は、一週間ほど早いような気がしますが、千年の森でも、テングタケ科、イグチ科のキノコが沢山発生しました。美味しいタマゴタケ、アメリカウラベニイロガワリ、アンズタケなども観察できました。



タマゴタケ (7/21 真鍋)



ベニイグチ (7/21 松田)

名前の確認出来たキノコは下記の通り51種です。(松田)

アメリカサ科	オトメノカサ、		
キシメジ科	ミネシメジ、		
ホウライタケ科	オオホウライタケ、		
ガマノホタケ科	ヒメカバイロタケ、		
テングタケ科	ツルタケ・カバイロツルタケ・タマゴタケ・ドクツルタケ・シロタマゴテングタケ・ハビキノコモドキ・コテングタケモドキ・ハイカグラテングタケ・		
フウセンタケ科	ムラサキフウセンタケの仲間		
イチョウタケ科	ニワタケ		
イグチ科	キヒダタケ・キイロイグチ・コガネヤマドリ・キアミアシイグチ・ニセアシベニイグチ・アメリカウラベニイロガワリ・ミドリニガイグチ・アカヤマドリ・スミゾメヤマイグチ・キクバナイグチ・ベニイグチ		
ベニタケ科	ベニタケ属種・クサハツ・カワリハツ・ウコンハツ・ドクベニタケ・ヒロハウスズミチチタケの仲間、クロチチタケ		
アンズタケ科	アンズタケ・ヒナアンズタケ		
イボタケ科	ボタンイボタケ		
マツバハリタケ科	ケロウジ		
ニンギョウタケモドキ科	コウモリタケ		
タマショレイタケ科	アシグロタケ・キアシグロタケ・ウチワタケ・ツヤウチワタケ・ヒイロタケ・カワラタケ・ハカワラタケ・コフキササルノコシカケ		
ミヤマトンビマイ科	ミヤマトンビマイ属種		
タバコウロコタケ科	ネンドタケ	ゴムタケ科	ゴムタケ
シロキクラゲ科	ハナヒラニカワタケ	クロサイワイタケ科	クロコブタケ

○植物観察

豊英島のツチアケビ自生位置をGPS位置情報に記録し、今年の開花-結実状況を調査記録しました。今年結実したのは島入口脇金網内の1株のみでした。豊英島のツチアケビの状況を継続モニタリングし、年内に中間報告します。クロムヨウランが数輪花を着けていました。シャシャンボ2株のうち湖側の株に1枝だけ開花していますが、広場脇の株は開花ゼロ。2株とも常緑樹に覆われ、日照を遮



ツチアケビ 7/21 真鍋



クロムヨウラン 7/21 福島

★ヤマユリ開花 コナラ更新林のヒメコマツ植栽地にヤマユリが咲いていました。最近では、ニホンジカによる食害でほとんど開花が見られなくなっていますが、ここは、植生保護柵で囲われているために開花できたものと思われます。(福島)



ヤマユリ 7/21 福島



ホソバセセリ 7/21 田島



サキグロムシヒキ 7/21 田島



ニジマトラカミキリ 7/21 田島



ニセクロホシテントウゴミムシ
ダマシ 7/21 田島

○昆虫観察

木を伐採し陽の当たる所には、虫がたくさんやってきます。「ホソバセセリ！」心の中でつぶやきます。希少種で少なくなったチョウです。サキグロムシヒキがクロコノマチョウを食べています。クロコノマチョウは目立たないように枯葉色をしています。敵もさるもの。あちらこちらで“食うか食われるか”という戦いが繰り返されています。ニジマトラカミキリ(約 1 cm)が伐採木にいました。トラカミキリの仲間は蜂に擬態しているそうです。長い名前のニセクロホシテントウゴミムシダマシ(3 mm)はテントウムシにそっくりです。「ニセ」とか「ダマシ」とか詐欺師のようですが、苔とかを食べているおとなしい虫です。

(他に観察された昆虫) モンキアゲハ、ジャコウアゲハ、クロコノマチョウ、ヒメウラナミジャノメ、ミドリヒョウモン(死骸)、モンキクロノメイガ、オオウンモンクチバ、オオシラホシアツバ、ヒゲナガキバガ sp、クロハグルマエダシャク、ウスグロノメイガ sp、クロテンシロヒメシャク、ギンシャチホコ(繭)、ノコギリクワガタ(頭部死骸)、オオスジコガネ、コイチャコガネ、オオセンチコガネ、ヒメクロオトシブミ、オオヨツボシゴミムシ、オオヒラタシデムシ、オオナガコメツキ、ナガニジゴミムシダマシ、トビイロオオヒラタカメムシ、アカサシガメ(幼虫)、ニイニイゼミ、ヒグラシ、アオバハゴロモ(幼虫)、キオビツチバチ、クマバチ、オオスズメバチ、ヒメスズメバチ、ムネアカオオアリ、クサカゲロウ sp(幼虫)、マダラスズ、オオカマキリ(幼虫)、モリチャバネゴキブリ、ヤマトゴキブリ(幼虫) (田島)

○ニホンジカ1頭確認

山口さんは、フクロウの巣箱近くで、今年生まれと思われる小さいニホンジカ1頭が逃げていくのを目撃しました。

★ヤマビル被害第1号

家に帰ってから気づいたんですが、手首のあたりに出血したあとが……。よく見てみると小さな赤い点があり、そこから血がにじんでいます。もしやと思って、脱いだ上着の袖のところをみると血が付いている！やられました。ヤマビルです。昼ごろに、千年広場近くのクロムヨウラン発生地で、地面に這いつくばって写真を撮っていたので、きっとその時にヤマビルがついたんだと思います。豊英島での被害第1号になってしまいました(^_^;) (福島)

表 相対照度測定結果（2012年7月～2014年7月）

測定箇所	相対照度 (%)				
	2012.7.16	2013.2.17	2013.7.15	2014.2.23	2014.7.21
	着葉期	落葉期	着葉期	落葉期	着葉期
2-7モミ混じり巨木林	0.9	10.6	0.5	17.8	0.6
2-13モミ混じり巨木林	2.2	39.9	2.7	36.8	4.0
3-16シイタケ楯場	2.3	19.6	3.1	18.2	2.6
4-16シイタケ楯場	4.8	15.1	1.9	33.1	4.0
千年広場中央	16.4	58.4	16.4	63.9	19.3
コナラ更新林の苗畑	14.0	61.1	21.7	56.7	22.2
ホテイチク保護柵横	-	6.8	7.7	6.5	4.9
マダケ保護柵の間	-	16.9	7.6	11.3	4.7
ガマズミ	3.9	58.8	4.1		3.9
ヤマユリ保護柵の中	5.7	50.2	4.3	47.2	2.1
コナラ更新林ヒメコマツ	42.0	75.3	58.1	77.3	35.7
岬ヒメコマツ	22.5	54.6	26.6	44.4	27.7
スハマソウ北斜面	2.1	8.8	1.4	12.9	4.7
コナラ伐採地				71.9	64.5

お知らせ

○8月の定例活動日

8月17日（日）、夏のキノコ観察会。9時30分、県民の森駐車場集合。

○夏のキノコ観察会

添付「夏のキノコ観察会」にご案内の要領で、実施します。参加希望者は参加申込が必要です。会員以外の方の参加申込も受け付けますので、定員オーバーで会員が参加できない事態を避けるため、8月10日の期限に関らず、早めの参加申込をお勧めします。

○8月の臨時活動日

8月2日（土）、キノコ観察などの臨時活動を計画します。キノコ班松田さんなど参加予定です。10時、鎌田屋旅館前集合。参加希望者は「ちば千年の森をつくる会」メール sennennomori@hotmail.co.jp宛メール又は090-3809-7907（真鍋）宛電話下さい。

なお8月2日の他に、8月17日の定例日の前か後にキノコや動植物調査などのため入林予定の方は、集合場所・時刻・活動内容などを上記に準じて連絡（メール又は電話）下さい。会員に呼び掛けて、参加希望者を募りますので、出来れば1週間前に。